

本日の主な論点

将来構想研究会では、これまで計 13 回の会議の開催を通じて、2050 年を展望する兵庫県の新しい長期ビジョンの検討を進めてきた。

その成果をもとに、今後、研究会として本県の新ビジョンの元となる将来構想試案を取りまとめるに先立ち、これまでの検討で深掘りできなかった事項を補完する議論を行うとともに、取りまとめの方針について協議する。

1 気候変動とエネルギーの未来

新ビジョンにおいて重視すべき社会潮流について、これまでテーマ別検討として様々な角度から議論を重ねる中で、多くの知見を得ることができた。

その一方で、未だ十分検討できていない事項もある。今日は、その中でも特に影響が大きいと考えられる気候変動とエネルギーの問題に関して意見を伺いたい。

気候変動（温暖化）は、県民生活に広範な影響を及ぼす。また、その対応として脱炭素化を本格的に進めるためには、再生可能エネルギーの導入をはじめ社会全体の幅広い取組が必要となる。そこで、例えば以下の点について、どのように考えるか。

<気候変動・エネルギーに関する主な論点>

- ① 気候変動は兵庫県の社会経済と県民の生活にどのような影響を与えるか。
- ② 気候変動（温暖化）が不可避として、どのような適応策を講じるべきか。
- ③ 脱炭素化に向けた社会変革の方向性。特に再生可能エネルギーの主力電源化や産業の脱炭素化を地域においてどのように進めるべきか。

2 将来構想試案骨子案

- (1) 研究会による兵庫県の将来構想の試案としてこれまでの検討成果を取りまとめ、これをたたき台として、来年度の新全県ビジョン策定につなげていく予定である。

将来構想試案の作成は、別添の骨子案に沿って進める方針としたいが、どうか。

- (2) 試案には、これまで研究会で扱っていない事項も記載していくことになる。テーマ別検討を総括する観点から、今まで十分議論できていないが、新ビジョン検討において留意すべき変化の潮流はないか。それに関して懸念される課題は何か。

<テーマ別検討で扱っていない事項例>

- ・兵庫と世界の関係はどう変わるか
- ・様々な科学技術の進展は私たちの暮らしをどう変えるか
- ・私たちの食料や水は引き続き安定的に確保できるのか
- ・巨大地震をはじめ様々な自然災害のリスクをどう捉えるか